



教育長あいさつ

新座市教育委員会教育長 金子 廣志

本日ここに、平成25・26・27年度新座市教育委員会委嘱、平成27年度埼玉県国語教育研究会委嘱による新座市立石神小学校の研究発表会が開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

さて、本県では、本年度より、新しい「埼玉県学力・学習状況調査」を実施いたしました。これまで各種学習調査では、学力の定着を、県や市を単位とする集団として捉えてまいりました。この調査は、児童生徒一人一人の「学力の伸び」に焦点を当てた全国初の調査として、大変注目される中での実施となりました。平成27年度埼玉県教育行政重点施策の最重要課題「確かな学力の育成」のため、児童一人一人を確実に伸ばす指導への改善と学習意欲の向上につながるものとして期待されております。日々の授業の中で、身に付けさせたい力を確実に身に付けさせるために、ねらいを明確にし、適切な評価を行い、主体的に学ぶ児童を育成することが求められています。

このような中、石神小学校におかれましては、『学び合い 心豊かにたくましく』を研究主題とし、「豊かな読みを通して、自分の思いや考えを深め、表現できる児童の育成」をサブテーマに、国語の研究に取り組んでこられました。叙述にこだわることで、児童が文章を豊かに読み、その力を生かして自分の考えを持ち、伝えることの喜びを味わい、主体的な学びへとつながる授業を創造いたしました。これにより、言語感覚を磨き、生活に生きて働く国語の力を育成するとともに、教師の授業力向上にもつながった実践となりました。これは、アクティブラーニングを意識した授業への足がかりとなったものと捉えております。

終わりになりますが、これまで御指導いただきました前十文字学園女子大学人間生活学部児童教育学科教授 松木 正子様、朝霞市教育委員会教育長 三好 節 様、志木市立志木中学校長 飯田 寛様、埼玉県国語教育研究会会長 中村 敏男様をはじめとする諸先生方に心より感謝申し上げますとともに、坂口 智校長を中心に御努力いただいた教職員と、御協力いただいた保護者、地域の皆様へ感謝申し上げ、挨拶いたします。

# 研究の全体構想

## 主題設定の理由

### ①児童の国語への意識 アンケートより

- 「国語が好き」と答える児童の割合が多い。
- 保護者の協力の下、読み聞かせを定期的に行っており、全学年を通して、読書の時間が好きである。
- 授業中は、積極的に発言できる児童が多い。
- ▲「説明文を読むこと」が苦手な傾向にある。
- ▲学年が上がるにつれ、国語に苦手意識を持ち、否定的な意見を持つ傾向が強くなる。

### ②学力調査の結果からわかる課題

- 短文回答やイラスト等具体的な説明がある設問はよくできている。
- 穴埋め問題、選択回答等の答えがはっきりしている問題は、よくできている。
- 主語と述語が直結している問題は、よくできている。
- ▲文字の写し間違えが目立つ。
- ▲分からないと、未回答のままにしている子が多い。
- ▲記述式の問題の正答率が低い。中でも内容を問うようなものが苦手。

## 研究主題

# 学び合い 心豊かに たくましく

～豊かな読みを通して、自分の思いや考えを深め、表現できる児童の育成～

## 研究仮説

多くの言葉や文章にふれる環境をととのえ、叙述にこだわった授業を展開すれば、豊かに表現できる児童が育成できるだろう。

## 豊かな読み・表現とは

情景描写や心理描写などの叙述をもとに、場面の様子や心情について、想像を広げて読むこと  
またその想像が伝わるように言葉や声で表現すること

## 目指す児童像

- 低学年** 時間の順序や登場人物の行動をもとに場面の様子をイメージできる子
- 中学年** 登場人物の行動や会話をもとに、場面の様子や人物像を、自分の経験と照らし合わせてイメージできる子
- 高学年** 情景描写や登場人物の相互関係をもとに、内面にある深い心情をイメージし、自分の言葉で表現できる子



学校長あいさつ

新座市立石神小学校校長 坂口 智

本日、平成25・26・27年度の3年間の研究の成果を発表させていただくことは教職員一同大きな喜びであります。私ども石神小学校教職員は児童一人一人が「学校が楽しい」と感じる学校づくりを目指しています。国語に関して、「好き」と答える児童が80%を超えてはいるものの、全国や埼玉県の学力・学習状況調査の結果を見ると、「叙述をもとに正確に読む力」「自分の考えを明確に表現する力」が不足していることが課題として浮かび上がりました。そこで、私たちは児童一人一人が学校生活を営む中で、「確かな読みができる児童」(初年度)「豊かな読みができる児童」(2年次)を目指し、研究して参りました。子供たちの実態を分析し情報共有しながら、日々の授業や教室環境づくりに活用してきました。また、研究の特徴の一つである「小グループに分かれての授業」を行うことで、少しずつではありますが、思いや考えを表現することに自信をもたせることができました。メンバーの入れ替わりが激しい中で研究が推進できたことは、研修推進委員長を中心とした「チーム石神」の結束の強さと優しさがあったからこそと思っております。まだまだ研究途上のつたない発表ではございますが、ご参会の皆様からの忌憚のないご意見をいただき、今後の研究に生かして参りたいと存じます。

最後になりましたが、本研究を進めるにあたり懇切丁寧な御指導いただきました新座市教育委員会教育長 金子 廣志様をはじめとする新座市教育委員会の先生方、前十文字学園女子大学教授 松木 正子先生、朝霞市教育委員会教育長 三好 節先生、志木市立志木中学校長 飯田 寛先生をはじめとする諸先生方に感謝申し上げますとともに、このような機会を与えていただきました新座市教育委員会に御礼を申し上げ、ご挨拶いたします。

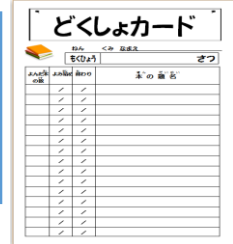
## 視点1 多くの言葉にふれる環境を整える

### 1 読書活動の推進

#### ●読書の星 たくさん読んだ児童を評価



朝読書の様子



20冊、50冊、100冊ごとに星を貼っていく

### 2 発達段階に合わせた国語トレーニング

#### ●音読カードの統一 ●視写の宿題



### 3 「言葉の花火」による言葉集め

#### ●「笑い声」の言葉集め



#### ●集めた言葉の活用

例：春の言葉を集めて  
俳句づくり  
↓  
俳句大会を開催し、校内で表彰



### 4 校内掲示の充実

#### ●国語コーナーの掲示例



クイズ形式で楽しく覚える!

学力調査の結果に沿って作成

## 視点2 叙述にこだわった授業展開

### 1 言葉に着目させる授業展開

#### ●学級全体で言葉のイメージを共有



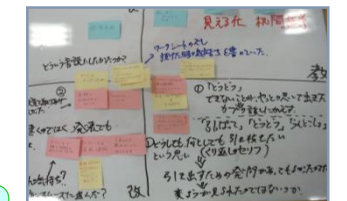
言葉の花火を活用した題名読み

「とうとう」って言葉、どんな時に使いますか?  
とうとう買いにいった。  
とうとう晴れた。  
とうとう帰れた。

#### 1年生「おおきな かぶ」にて



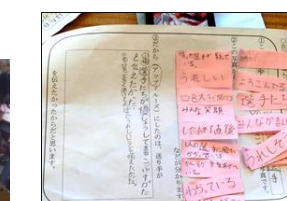
できなかったことができるようになったときに使う!



研究協議での振り返り

### 2 少人数グループでの学び合い

#### ●3、4人での話し合い



付箋を活用した話し合いも実施した。

### 3 叙述にこだわった教材研究

#### ●学年を超えた指導案検討



#### ●児童の言葉を生かした教材研究

